

賛助会員

理研食品株式会社 (〒985-0844 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

株式会社KANSO テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせください。

皆様のご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は会員の皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やミニレビュー、学術資料、その他の記事があります。ご投稿に際しましては、第 71 巻 1 号の p.30-33 に掲載されました投稿規定、執筆要項、投稿票、別刷・カラー印刷等申込書をご覧ください。投稿区分、カラー印刷料金や別刷料金と、投稿者が査読候補者を指名し、希望する論文通信担当編集委員に投稿できるなどの審査体制が示されております。投稿規定、執筆要項、投稿票は日本藻類学会の WEB サイト (<http://sourui.org/publications/index.html>) からダウンロードでき、論文通信担当編集委員の連絡先も WEB サイトで確認できます。現在は電子メールでのデジタルデータの投稿を受け付けていますので、投稿票は WEB サイトからダウンロードしてご使用ください。皆様のご投稿をお待ちしています。(編)

編集後記

72 巻 3 号ができました。日本藻類学会論文賞は英文誌 Phycological Research に掲載された論文を選考対象としていますが、この論文賞が始まった 1997 年（藻類 45 巻）から 2004 年（藻類 52 巻）までは和文誌藻類に掲載された論文も対象とされていました。そして英文誌のみが選考対象となった際には、和文誌に掲載された原稿（論文、企画、総説、解説、記事など）を対象とした新たな賞を設けることが決まりました。それから 20 年が経ち、これまでの経緯や和文誌の藻

類学や会員への貢献を改めて振り返りながら、和文誌編集委員会では和文誌を対象とした論文賞の設置について議論を重ねてきました。編集委員の先生方には編集の合間に貴重なご意見をお寄せいただきました、ありがとうございます。藻類に関するさまざまな情報を記録しながら、和文誌がさらに盛り上がっていくことを期待しています。

(岩滝 光儀)

表紙 ハプト藻 *Braarudosphaera bigelowii* の運動性細胞と非運動性細胞

制作者：萩野 恭子

制作者より：*Braarudosphaera bigelowii* はハプト藻の一種で、細胞内に窒素固定オルガネラ『ニトロプラスト』を持つ。日本沿岸では春に運動性細胞（左）が観察され、初夏に非運動性細胞（右）へと変わる。